

病院ボランティアを募集しています！

“病院ボランティア”とは

病院内で医師・看護師・その他の職員と協力して、患者様が少しでも良好な環境のもとで安心して治療ができるように、自発的に無報酬で奉仕する方のことです。

活動する日

平日の午前8：30から午後4：00の間で、都合の良い時間帯。
週1回以上で、1回の活動時間はおおむね2時間以上。

活動内容

- 患者様の案内（各診療科、放射線科、検査科等へ）
- 車椅子利用者への介助、誘導
- 花の水かえ
- 本棚の整理
- 掲示物の整理
- 屋外のごみ拾い、草取り
- その他 できること



いつもありがとうございます！

柿崎区 小山智恵子さん(火曜日午前)
田中操さん(水曜日午前)
ご協力に感謝いたします。

お問い合わせ、お申込みは事務長、看護部長へどうぞ



外来診療担当表



診療科	受付時間	月	火	水	木	金
総合診療科	午前 8:30~11:30	1診 藤森	藤森	藤森	眞水(飛)	眞水(麻)
		2診 木島	眞水(飛)	眞水(麻)	水戸	木島
		3診 眞水(麻)	眞水(麻)	第1・3・5 眞水(飛) 第2・4 水戸	木島	
外科	午前 8:30~11:30	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木
眼科 (水曜は予約制)	午前 8:30~11:30			塚本 診療10:00~		石川 診療9:00~
	午後 13:00~14:00			塚本 診療13:00~		
皮膚科	午前 8:30~11:00		濱田 診療9:00~			
	午後 13:00~15:00			労災病院 診療13:30~		
婦人科	午後 13:00~15:30					新潟大学 診療14:00~
耳鼻 咽喉科	午後 13:00~15:00		新潟大学 診療13:30~			新潟大学 診療13:30~
整形外科	午前 8:30~11:00		労災病院 診療10:00~	労災病院 診療10:00~		

●水曜日の眼科は完全予約制ですので、あらかじめ電話での予約をお願いします。(予約受付：平日午後2時~)
●外来の予約変更のお電話は、平日午後2時以降にお願いします。

柿崎病院だより



発行日：平成29年2月1日
発行元：新潟県立柿崎病院
〒949-3216
上越市柿崎区柿崎 6412-1
TEL 025-536-3131
FAX 025-536-3136
ホームページ <http://kakizaki-hp.niigata.jp/>

「流水不息」—地域とともに—

臨床検査技師長 松浦久美子



私事ではありますが、この3月で定年退職を迎えます。歴史ある地元の柿崎病院に通算23年も勤務することができた事をありがたく思っております。

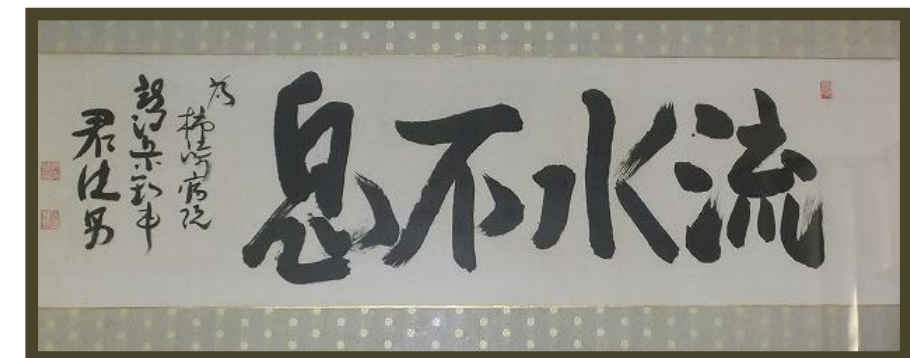
私が柿崎病院に3回目の赴任をした5年前の事です。院長室に用があり入室した際、壁にかかっていた「流水不息」の書が目飛び込んできました。大胆な書体にぐっと魅かれるものがあり心に残りました。後で分かったのですが、その書は柿崎病院創立100周年を記念して君知事から病院に贈られたものでした。

今から45年前の昭和46年、柿崎病院は県立病院再編計画案により廃止の危機に立たされました。そこで、柿崎・吉川・大潟の3町で構成する「病院後援会」は病院存続の運動を繰り広げ県議会に連日陳情を続けたそうです。この住民運動が無かったら今の柿崎病院はなかったはずです。

君知事が頸北3町の実情視察に来られた時、私は吉川町の中学校の生徒でした。柿崎病院存続が決まった時、祖父が「おお！君さんがやってくれた！」と感嘆の声を漏らし喜んでいたので覚えています。「流水不息」・・・地域に脈々と流れる地域医療は止むことはない。そんな思いを込めて君知事は書いてくださったのでしょうか(藤森院長談)。

病院職員もこの思いに応えるべく地域に開かれた病院づくりに取り組んでいます。年4回の「地域講演会」の開催や「お引上げ商工祭り」「産業祭」等に参加し住民の皆様と交流を深め、院内恒例行事である「七夕コンサート」や「クリスマスコンサート」は患者様ばかりでなく地域の方々との楽しいふれあいの場となっています。安心、安全な医療の提供はもちろんの事、小規模病院の特徴を生かし、皆様に喜んでいただける病院でありたいと職員一同頑張っております。

柿崎病院は8年後の2025年には創立150年を迎えます。病院を守って下さった方々に感謝いたしますとともに、今後は一住民として私も応援していきたいと思っております。



放射線科



放射線科は2名の技師と県立中央病院からの応援技師とで業務を行っております。
当院放射線科の装置を紹介します。

①【16列マルチCT】

6年前に導入され、一度にたくさんの画像を作り出します。小さなものを見つけやすくするため、非常に薄い厚さで画像を作っています。

②【X線テレビ装置】

5年前に導入され、TVモニターで体の透視像をリアルタイムに見ることの出来る装置です。

③【一般X線撮影システム】

X線を出す側の装置は、外来撮影用と病室に向いて撮影するポータブル装置があります。
X線を受けて画像を作る装置は、FPD(フラット・パネル・ディテクター)というものを昨年導入しました。これは新潟県立病院の中で当院が最初の導入になりました。以前の装置と比べX線量が半分以下になり、画質が向上しています。撮影スピードも速くなり、患者さんを長くお待たせする事が少なくなりました。そして、これらの装置で撮影した画像を各外来や病棟に送信するPACS(ボックス)と呼ばれるシステムがあります。これは昨年オーダリングシステムと同時に更新しました。医師や患者さんが画像を良く見られるように環境を整備することができました。

当院は病院規模としては小さいですが、導入されている装置は優れています。これからもどうぞ安心してご利用下さい。



CT装置

X線テレビ装置

FPDパネル

外来撮影装置

ポータブル撮影装置

外来PACSシステム

柿崎ニュース

クリスマスイベントを行いました

第1部は外来待合ホールで、クリスマスコンサートを行いました。今年も病院職員によるハンドベル演奏から始まり、オカリナ演奏、合唱などをご披露いただきました。ご近所の方々、入院患者さんにたくさんお集まりいただき、会場はクリスマスムード一色に包まれました。

第2部は入院病棟で、サンタやトナカイに扮した先生方による回診を行いました。入院患者さんのベッドサイドへおじゃまして、病棟職員お手製の心のごもったクリスマスカードをプレゼントしました。



毎年クリスマスコンサートにご協力いただいている大湯オカリナアンサンブルさんと合唱団でたくさんに院長から感謝状を贈呈させていただきました。

防ごう！冬の感染症

インフルエンザ、感染性胃腸炎の流行シーズンを迎えています。
どちらも子供や高齢者は重症化しやすいので、感染予防策を徹底して、感染を防ぎましょう！

インフルエンザ

<かからないために>

- ・人混みを避け、外出後は必ずしっかりと手洗いをする。アルコール消毒も効果的。
- ・ふだんから十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めておく。

<かかってしまったら>

- ・早めに医療機関を受診し、処方された薬は医師の指示に従って服用する。
- ・咳やくしゃみが出たら、周りの人にうつさないためにもマスクを着用する。



感染性胃腸炎

<かからないために>

- ・食事前、トイレの後、調理前後はしっかりと手洗いをする。2度洗いが効果的。
- ・食品は中心部までしっかりと加熱し、調理器具は洗浄・消毒を徹底する。

<かかってしまったら>

- ・嘔吐、下痢、腹痛などの症状が通常は2~3日間で回復するが、子供や高齢者は重症化したり、吐いた物を誤って気道に詰まらせてしまうことがあるので注意。
- ・ウィルスの飛散を防ぐため、便や嘔吐物は注意して処理する。消毒は塩素系漂白剤を使用する。

